

宗教部 ニュースレター

◆CONTENTS◆

- クリスマス礼拝・祝会 ……1
- 月曜礼拝・学生企画礼拝……2
- 沖縄・アジア・フレンドシップアワー……2
- 後期キリスト教週間 ……3
- サマー聖書キャンプ ……4



クリスマス礼拝 12月21日(金) 仲里朝章記念チャペル

真栄城隆司本学院名誉教授指揮のもと、今年もオーケストラとオルガン、聖歌隊とキリスト教芸術の受講生による合唱の賛美の中、クリスマス燭火礼拝が行われました。クリスマス物語では、韓国語クラス受講生による聖書朗読、手話受講生による手話賛美も加わり、礼拝に華を添えてくださいました。メッセージは「クリスマス―神はなにゆえ人となられたか」と題して、本学院第二代学長の平良修牧師より、一人ひとりの存在の意味と、主イエス・キリストの誕生の意味を大胆に熱く私たちに問いかけられました。

献金は、被災地支援や福祉活動に取り組む団体、アフリカで活動する団体に捧げられました。

クリスマスは、学生会や教職員による積極的なご協力のもと、来場者も共に祝います。学生宗教委員会 Hope を中心に10月から練習を重ねた聖歌隊、司会、聖書朗読など関わった一人ひとりにクリスマスの喜びがあふれました。



クリスマス祝会

祝会では、学生会長の城間柚希さん、学生宗教委員の田畑偉作さんの司会進行のもと、美味しい

(持ち寄り) 料理を囲んで楽しい交流の時となりました。

三線・太鼓による「かぎやで風」、児童文化研究サークルのパフォーマンス、ヴァイオリン・ピアノ・歌による「クリスマスメドレー」、教員によるバンド演奏などの出し物がありました。



月曜礼拝・学生企画礼拝

11月26日「私たち一人一人を愛しておられる方」

保育科1年の塚田響さんが、ヨハネによる福音書3章16節「神は、その独り子を
お与えになったほどに、私たちを愛された。独り子を信じたものがひとりとて滅びず
永遠の命を持つために…」を歌った賛美「愛」とメッセージを担当しました。

＊2018年度学生宗教委員長は塚田響さん（保育科1年）、副委員長は稲荷紫帆
さん（保育科1年）に決まりました。

響さんから一言～：今年の2月から学生宗教委員会主体で聖書研究や賛美、
交わりの時を持っています。初めての方も次々と足を
運んでくださるよう、祈り備えて行きたいです。



12月10日「フィリピン海外ボランティア報告」

「海外ボランティア実習」の講義の一環として、
フィリピンでホームステイをして研修、現地の方々
との交流を通して学び得たことを4名の学生と引率
の仲里和花先生が報告してくださいました。



沖縄・アジア・フрендシップアワー

【2019年2月17日 日本聖公会 小禄聖マタイ教会】

（人文学部3年）大田美奈子

私たち学生・教職員7名は、2月17日（日）日本聖公会小禄聖マタイ教会（豊見城市
字豊見城）を訪問しました。礼拝は、温かい家庭的な雰囲気が進められ、「平和の挨拶」
では「主の平和」と言って、聖堂内を歩き回り教会員の皆さんたちと握手をし、挨拶
を交わすことができました。その後の陪餐では、祭壇の前に進み出て、ハム司祭から
祝福を受けました。月曜礼拝とは違う、初めての経験で少し緊張しましたが、韓国語
の優しい祝福の言葉に心が落ち着きました。

礼拝後は、お弁当と手作りのバナナケーキやぜんざいをいただきながら、交流のひ
と時を持ちました。その後、私たちは特別賛美としてキーボード伴奏で賛美歌を披露
し、また教会員の皆さんとも共に歌い、大きな拍手を頂きました。そして、韓国出身
のハム司祭から韓国のこと、学生の頃に阪神淡路大震災でボランティアとして活動し
た経験が、一年半前にこの沖縄に来ることに繋がった経緯や、その思いなどを聞いま
した。

最後に、教会に隣接する幼稚園にある碑を見学しました。
これは、1974年3月2日聖マタイ教会・聖マタイ幼稚園
敷地（当時、那覇市小禄）で起こった不発弾爆発事故で亡く
なった方々の魂の平安と遺族に哀悼の意を表し、二度と愚
かな戦争を繰り返さない恒久平和への祈りと願いを込めて、
また沖縄から平和を発信する拠点の一つとなることを願って、建立されたものです。
今回の訪問では、本当に多くの学びを得ることができました。



2018 年度 後期キリスト教週間

Monday

10月22日(月)～26日(金)

月曜礼拝



初日の月曜礼拝では、日本 YWCA 職員の臼井一美氏をお迎えして、「いっしょに生きる」と題してメッセージを語っていただきました。ご自身が働いている YWCA というところを紹介され、この世界で、一緒に生きるとはどういうことかを共に考えていくことの大切さをお話されました。



Wednesday

学生・教職員昼食会

水曜日は、それぞれお弁当を持ち寄って昼食会を行いました。学科や学年を超えて交流を持つことができました。学校生活、授業、サークルのことなど、学生だけでなく教職員も交えながら懇談のひと時を過ごしました。



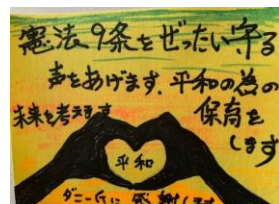
Thursday

後期キリスト教講演会「憲法のない国」

後期キリスト教講演会では、イスラエル生まれの木工職人・平和活動家のダニー・ネフセタイ氏をお迎えして、「憲法のない国」という演題で講演していただきました。



故国での兵役の経験から、軍隊の意味を深く洞察され、「愛国心」の教育、そして、戦争につながる「武器競争」の意味や 3・11 以降の「原発」の問題についてわかりやすく語っていただきました。日本国憲法に出会い、憲法の意義と平和について、「想像力と心」を働かせて共に考えていこうと呼びかけられました。



Friday

学生企画プログラム「平和のメッセンジャー～自分にできること～」

最終日は、稲荷紫帆さん(保育科 1 年)、仲村仁志さん(人文学部 4 年)を中心に、ダニーさんの講演会を聴いて「身近な人へあなたが伝えたいこと」をメッセージカードに書いてもらい、それを「平和の虹」として制作、展示しました。



2018年8月16日～17日

サマー聖書キャンプ

日本キリスト教団 首里教会
日本バプテスト連盟 那覇新都心キリスト教会

1. 首里教会

本学院の誕生の地である首里教会の礼拝堂を使用させていただき、開会礼拝を行いました。
その後、首里教会信徒の比嘉文子さんより首里教会の歴史を学び、教会員の方々と交流しました。



2. 夜回り

ホームレスの方々を訪ねる「夜回り」について、岡田有右先生（那覇新都心キリスト教会牧師）よりお話を聞きました。その後、カップラーメンとおにぎりを持って、那覇市内に行きました。野宿に追い込まれた方（ホームレス）を訪ね、話を聞く岡田先生の姿勢から、周りに対する愛を感じることができたという参加者の感想がありました。



◀那覇新都心
キリスト教会

平和講座▶
セミナーハウス



学生宗教委員会(HOPE) 随時メンバー募集中！

学生宗教委員になって、讃美歌やキリスト教に触れてみませんか？随時メンバーを募集しています！
ぜひお越しください♪

★集まる日：月曜日のお昼休み、木曜日の5時限目

※メンバーの時間割によって変更することもあります。

★場 所：HOPEの部屋（チャペル入って右側）



～編集後記～

宗教部の主な活動について、紙面にて紹介させていただきました。
沖縄キリスト教学院のfacebook ページや学報でさらに詳しく、
ここで紹介出来なかった活動も掲載されています。
ぜひご覧になり、「いいね！」とともに応援をお願い致します！
facebook ページ  いいね！
<http://www.facebook.com/OCU.OCJC>

宗教部ニューズレター 第12号

2019年3月発行

発行 沖縄キリスト教学院 宗教部
沖縄県中頭郡西原町翁長 777 番地

TEL : 098-946-4152

URL : <http://www.ocjc.ac.jp/index.html>

Email : shukyobu@ocjc.ac.jp